

人と人、笑顔と笑顔をつなぎたい。
「くらし」と「いのち」をつなぎたい。

九州つなぎ隊

九州つなぎ隊とは

地域で起こる様々な問題や課題にフィットして対応できる人材は、人口減少や高齢化などの影響で減り続けています。各地・各方面の「いま動ける人」同士がつながって、その解消を目指すのが「九州つなぎ隊」です。

「九州つなぎ隊」の立ち上げについて

人口減少、高齢化、少子化、都市部への人口集中、過疎化、人間関係の希薄化は、いまや日本全国共通の課題です。

たとえ人口が多い都市部や地方でも、高齢化や地域への関心の低さなどが要因となり、様々な課題・問題に対して臨機応変かつ柔軟に対応できる人材、つまり「動ける人」は、これからどんどん減っていくと考えられます。

「動ける人」が減り続ければ、今よりもっと広範囲に渡って、多くの物事が終わったり無くなったりしてしまいます。

現に、地域における人の集まりや施設などの縮小・閉鎖、祭りや年中行事など古くから引き継がれてきた伝統文化の消滅などは、日本の随所で見受けられます。

これらは「いつか起こること」ではなく、もうすでに始まっています。

そのように、人や物が無くなっていけば、住民の負担は偏り、地域の機能は低下し、その社会を支える福祉や医療をはじめ、さまざまなサービスや枠組みが破綻していくことは目に見えています。

しかし、そういった見通しが具体的にイメージできないまま、「大変だ」「何かしなければ」という言葉だけが独り歩きしていないでしょうか。

「動ける人」が充分にいた頃のままの枠組みや理論を、「動ける人」が減ってしまった状況に当てはめようとしても、無理があります。

また、「個々の動ける人」が地域の課題に取り組もうとしても、そのアクションを活かせる地理的な範囲や分野の制限に足止めされてしまったり、単独ではパワーが足りずに足踏みしてしまったりするケースもありがちです。

本腰を入れて解決策を見出すには、「いま動ける人」同士が、場所や分野の枠にとらわれず縦横無尽に「つながって」情報を共有し、多種多様な問題にフィットするための、具体的な行動への道筋を立てる必要があります。

その事例に私たちは触れてきました。宮崎県の口蹄疫や熊本県の地震などの災害において、「動ける人」が自らの意志で「つながって」行動し、共に助け合ってきた姿は記憶に新しいところ です。

災害のような突発的で甚大な問題であれ、身の回りで日々起こっている諸々の問題であれ、どちらも社会の存続を左右する、「くらし」と「いのち」にかかわる問題であることに変わりはありません。

短期間に大人数を一度に動かすことが無理だとしても、「小さなつながり」をいくつも積み重ねて連鎖させれば、住民レベルで日常的に助け合い、支え合っているような流れに展開できると私たちは考えます。

そうならば、いま目の前にある問題や課題をはじめとして、これから起こり得る災害も見据えた多岐にわたる状況に即応できるような、「くらし」と「いのち」を守る新たな相互支援の形を創り出すことができるはず です。

この九州を舞台に、その仕組みを立ち上げて構築するのが「九州つなぎ隊」です。

「九州つなぎ隊」は、宮崎県「中山間盛り上げ隊」の立ち上げと8年間の運営実績を軸に、長崎県 宇久島の離島振興をはじめとして、各地の住民とともに培った経験的資産を活かしつつ、ICTによる地域コミュニティ活性化のノウハウも応用し、これからの時代に適応した、持続可能な社会の創出を目指します。

◎九州つなぎ隊 立ち上げ準備室

初鹿野 聡（宮崎県）NPO法人みんなのくらしターミナル 代表理事
武藤 元美（福岡県）株式会社福岡情報ビジネスセンター 代表取締役
福井 樹夫（長崎県）佐世保市職員
藤村 美穂（佐賀県）国立大学法人佐賀大学農学部 准教授
沢畑 亨（熊本県）愛林館 館長
高橋 利行（宮崎県）国立大学法人宮崎大学 准教授



九州つなぎ隊の隊員になっていっしょに活動しませんか？

自分にできる時に 自分にできることを

九州つなぎ隊の大きな特徴のひとつは、「自分にできる時に、自分にできることで、地域やそこで暮らす人々の役に立つ」ということ。

九州つなぎ隊には、各地からさまざまな活動の依頼が寄せられます。その中のどれに参加するかは各隊員の自由です。

地域や人との出会い 広がるふれあい

活動の最大の魅力はなんといっても、さまざまな地域の多様な風土にふれること。そして各地住民との出会いとふれあいです。

ある地域の「顔なじみ」になることの喜びはもちろん、自分の知らない地域や人々との「新しい出会い」も醍醐味のひとつです。

募集条件

以下の条件を満たす個人または団体（企業・学校・グループ等）を募集します。

✔ 小学生以上であること

但し18歳未満の子どもが参加される場合は保護者または教職員等の同伴と参加が必要になります。

✔ 電子メールでの連絡方法が確保できること

事務局と隊員との諸連絡には電子メールを使用します。

✔ インターネットに接続してウェブサイトを確認できる環境があること

活動参加の案内は原則としてウェブ上で告知します。携帯電話の場合もウェブサイトを閲覧できる状態である必要があります。

⚠ この他の諸確認事項がウェブサイトに掲載されています

➔ 詳しくは「九州つなぎ隊」ウェブサイト <http://9tt.jp> ホーム → [隊員登録をする](#) でご確認ください。



九州つなぎ隊の隊員を呼んでみませんか？

一緒に地域を元気にする「九州つなぎ隊」

「九州つなぎ隊」は地域の中に入って、住民の皆さんとのふれあいを大切にしながら、様々なお手伝いをします。一緒に地域を元気にするために「九州つなぎ隊」の支援活動をご依頼ください。

地域の様々なお悩みにフィット

いま、「人手が少ない」ことが原因で、様々な地域活動や住民同士の助け合い・支え合いが立ち行かなくなっています。もしかしたら、あなたの地域で「九州つなぎ隊」がお役に立てるかもしれません。

ご依頼にあたって

九州つなぎ隊の活動は、次の流れで決定されます。

1. 所定のウェブフォームにて必要事項を入力・送信いただきます
2. ご依頼内容がメールにて事務局に届きます
3. ご依頼者にも「自動返信メール」が届きます
4. 事務局にてご依頼内容を確認・検討したのち改めてご連絡差し上げます

⚠ 状況によってはご要望に沿えないケースもございます

➔ 詳しくは「九州つなぎ隊」ウェブサイト <http://9tt.jp> ホーム → [活動を依頼する](#) でご確認ください。

